

研修9日目。朝食を済ませた後、本日の研修場所である国連に向かいました。昨夜講演をしてくださった大澤さんもホテルにお越し頂き、一緒に移動のバスに乗り込みました。昨日とは打って変わって、気持ちよく晴れたNYの街。バスの中では国連についての予習が始まりました。「国連の加盟国数は?」「国連の公用語は?」「国旗が並ぶ順番は?」栗原先生からの突っ込みも織り交ぜつつ、これから始まるガイドツアーに備えます。ガイドの方は、韓国、ヨルダン、アメリカ出身の3名です。ツアー開始直後に目に入ってきたのは、日本が寄贈した「平和の鐘」。そこから、平和維持活動の様子や様々な国のアーティストによって描かれた絵画、まさに会議が行われている議事堂など。ツアーをしてくださるのはネイティブの方々なので、当然英語で説明が行われます。どの方もとても丁寧で分かりやすい言葉を選んで話してくださいました。

ツアーの後は、国連の中にあるカフェでランチを取りました。昨夜大澤さんとお話しをしたかった生徒さんが入替わり立ち代わり、大澤さんのテーブルに集まります。移動のバスの中、ツアーの前後、聞きたい事や話したい事が次から次へと溢れてくる高女生でした。

国連を後にして、バスはバッテリーパークに向かいました。ここからは、海を挟んで自由の女神が見えます。海風とビル風が相まって、広場にはもの凄い強風が吹き荒れます。短時間で撮影を済まし、次に9.11ミュージアムにバスは走り出します。アメリカ同時多発テロ事件は、生徒さんにとっては生まれる前の（生まれた直後の）出来事です。ここでは当時ニュースで流れた映像を見ることができ、爆発の衝撃でまがった柱、焼け焦げた救急車、生死を分けた階段などが展示されています。皆一様に慎重な面持ちで展示室から戻って、言葉少なに感想を言い合いました。これまで情報として知っていた事件ではありますが、実際に被害に遭われた方々の様子や惨状を目の当たりにして、思う事が多かったようでした。

さて、本研修のクライマックス。群馬県人会の方々との交流会が始まりました。大澤さん以外にも、高女のOG方も来て頂き、日本人ゲストの方7名+特別参加2名の総勢9名の方をお会いすることが出来ました。夕食（私達が食べなれた日本食をご用意頂きました!）を囲んで、ゲストの方からお話を伺います。「なぜ海外で働くことを選んだのか」「仕事をする時に難しいことは何か」そしてここでも、勉強の仕方についての質問が飛び交います。高校の時の勉強、大学をどのように選んだか、大学では何を学んだのか。ここに集まってくださったのは、自分達と同じ故郷から来た人生の先輩達です。ゲストの方々のお話を伺い、自分達の進路・未来に思いを馳せます。NYに移動してから、徐々に思いは日本に移ってきました。ここで学んだこと、貴重な経験をどう活かしていくのか。個々に考え、研修に参加したメンバーと共有してきました。

実は今朝、朝食を取った後、有志のメンバーが集まってミーティングを行いました。数名のグループを作って、ここで学んだことを共有し、これからどうしていくのか?それぞれの思いを伝え合いました。決して楽しいことばかりではありませんでした。この研修では、自分から積極的に学ぶことを目標に参加している生徒さん達が多くいます。最初は文化の違いに戸惑い、自分の英語が通じない・相手の言っていることが分からずに悔しい思いもしました。しかし、その全てが今後の学びにつながる。多くのゲストの方から教えて頂いたメッセージから、そう考えるようになりました。アメリカで出会った方々、研修に送り出してくださいました家族や先生方に感謝の気持ちを抱えて、日本に戻ります。以上、9日目の報告とさせていただきます。

国連には様々なオブジェがあります



ガイドツアー



小さく見える自由の女神



9.11 メモリアル



群馬県人会の方々との交流会



お礼を伝えます



校歌斉唱



うちわを持って記念撮影！

